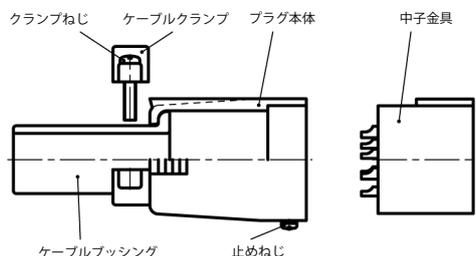


結線作業方法【はんだ】T

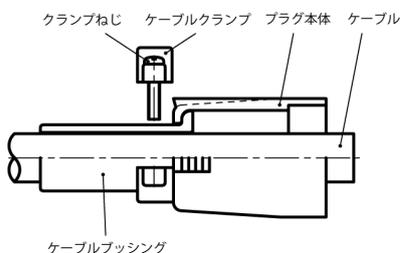
※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。

1. 構成図の通りコネクタを分解する。



2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする。



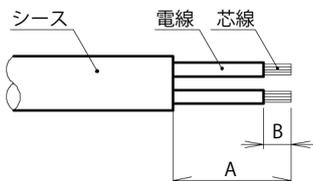
3. 使用ケーブルのシース及び電線を下の表の寸法で剥く。

4810 に使用する電線の芯線に予備はんだを施す。

注) ※予備はんだは、電線の被覆部まで行わないこと。

仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと。

※予備はんだを施したケーブル導体の仕上がり状態がコンタクトの孔径より大きくなる場合は、ケーブル導体がコンタクトに差し込めなくなるので予備はんだは行わないこと。

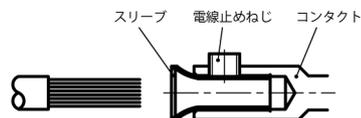


| サイズ・コンタクト数・形状 | A (mm) | B (mm) | 電線導体断面積 (mm ²) |
|---------------|--------|--------|----------------------------|
| 484 | 33 | 12 | 3.5 ~ 5.5 |
| 4810 | | 9 | 3本 = 3.5, 7本 = 2 |

4. 下記の要領でコンタクトに結線する。

T-484 (ねじ止めタイプ)

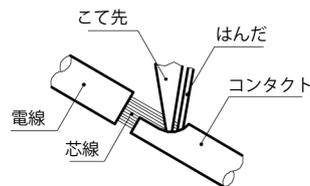
- ① コンタクトに装着されているスリーブにケーブルの芯線を差し込む。
- ② 電線止めねじをスリーブがつぶれてしっかり止まるまで締め付ける。



T-4810 (はんだづけタイプ)

注) コンタクトへの過度の加熱はしないこと。
使用はんだごては下の表を参照。

- ① コンタクトのソルダーポットに芯線を差し込む。
- ② 図の様にはんだごてで加熱しながらはんだを流し込みコンタクトと芯線の隙間を埋める。



| 使用はんだごて | 電線導体断面積 (mm ²) | こて先温度 (°C) |
|---------|----------------------------|------------|
| 30 W | 2 | 350 ~ 370 |
| 60 W | 3.5 | 370 ~ 400 |

こて先温度は共品はんだでの参考値

5. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

- ① 中子金具のガイド位置を合わせてプラグ本体に挿入し、止めねじ (3本) を締め付ける。
(中子金具とプラグ本体にガタがない程度まで締め付ける)
- ② クランプねじを締め付け、ケーブルクランプを固定する。

